

2026年3月31日

八女市議員 森茂生

視察日程 2026年3月23日～25日

(視察先)

1、和歌山県橋本市市脇1丁目3-18 橋本商工会館

2、橋下自然農場見学

(視察内容)

- ・橋本自然農苑ワンディセミナー
- ・農場見学



自然農法 | 研修モデル農場として！ 橋本 進

自然農法を広げるには、自然農法の農家を増やすしかない！そう思い立ち、橋本自然農苑は自然農法の研修モデル農場になると決心し、研修生を受け入れるようになったのが、2000年ごろ。当時はまだ有機農法すらメジャーではなく、自然農法は存在すら知られていませんでした。

現在までに50名以上の若者が研修を修了し、卒業していきました。その中で新規就農に成功し、実際に自然農法の農家として今も現役で営んでいる農家は30名です。あなたはこの数字が多いと思いますか、少ないと思いますか？

「土がきれいになれば世界が平和になる！」それがすべての動機でした。そこから始まった活動は、少しずつ実を結び始めました。人に自然農法を教えることは、自分が思っていた以上に難しく、多くの育て損ねた若者に対する、痛烈な悔恨の念に悩まされました。私はもう一度基礎から学び直し、人に教えることで自然農法の理解をより深くし、自分を成長させることができました。

近年の研修生の新規就農率は、ほぼ100%になっており、1年目から1ヘクタールもの面積を耕作する人も現れるようになってきました。

自然農法の農家としての生き方に興味のある方は、橋本自然農苑にお問い合わせください。一度、農場見学にお越し下さい！

私はいまでも本気で思っています。自然農法は世界を救えるかもしれない！

自然農法とは

自然農法とは、有機農法とも違う、化学肥料は使わないし、鶏糞、牛糞、堆肥や米ぬか等有機肥料も使わない。使わないどころか有機質肥料を使えば、返って自然農法にとって邪魔をするので使わない。果たしてそのような方法で作物はまともに育つのか？

今までの常識では考えられない

今までの常識で考えれば、通常の肥料どころか有機物すら畑に全く施さず、何年も作物が育つとは考えられない。しかも、下の写真ニンジンで 30 年近く連作しているという説明です。信じられますか？（実際生で「かっじたら」果物のように甘かった）

まら、通常は同じ野菜を連作すれば、必ず連作障害が出ると言われている、そのため、種類の違う野菜を作り連作障害を回避する。いわゆる輪作というやり方を行うのだが。

（無肥料、無農薬で 29 年連作のニンジンの畑）





(お野菜定期便全国各地に配送)

もうすぐ年商 1 億円に

いくら理想を唱えても農業は職業である。そのためには当然職業として成り立つかどうかと思われるが、「お野菜セットの定期便」として全国各地に配送している、もうすぐ年商 1 億円に達するというからすごい。また、積極的に研修生を受け入れ、これまで 50 名以上になるということです。

自然農法で無肥料、有機物もダメといっても、今までの農業の考えとあまりにもかけ離れていて、いくら説明しても、理解する人は少ない気がするが、現に作物ができることは間違いはないようだ。一般的に普及するにはまだまだ時間がかかる気がします。